

神戸市立多聞台小学校評価報告書

校園長名

仁ノ内 智

記入者名

吉本 賢一

り学 の校 目づ 標く	～ともに～				
	・友達とともに学び合う子 ・友達とともに高めあう子 ・地域とともに育つ子				

内容		重点的な取組み	評点 (4段階)	特記事項 (学校自己評価)	関係者評価 (学校自己評価に対する学校運営協議会の意見等)	学校自己評価、関係者評価を踏まえた 次年度の重点的な取組みの案
育てたい 子供の姿						
	ともに学び合う子	・ペア学年交流、活動 ・ペアトーク、グループトークを効果的に授業に取り入れる	3	複数指導やわかっている子が教えるやり方などで学ぶ姿勢が出てきている。自分の意見に自信のない子は、ペアトークにより発表ができるようになってきている。	特別支援学級の子供が仲間として育ち、自信をつけている。これからも誰もが「存在を認められた」と感じられる風土を大切にしていきたい。	今後もペア活動を行う。つばめプロジェクトも継続していく。
	ともに高め合う子	・GIGA端末を使い、互いの考えを交流 ・ペア学年の交流	3	GIGA端末を使うことで、児童の考えが教師にもよくわかった。画面を有効活用することで、児童の理解力が上がった。	概ね賛同を得た	GIGA端末を使用できる教材では、大いに使う。ノートと併用を考える。また、学習、特別活動、行事等で、チャレンジすることを大切にさせる。
	地域とともに育つ子	・地域素材を生かす（まちたんけん） ・地域の方との交流（学習発表）	3	水泳学習・校外学習等で、当該学年に関係なくボランティアを募集し協力が得られた。地域に学び、地域の方から学ぶ活動も計画したい。	地域行事は地域のふるさとづくりという思いで実施している。現在の学校の協力体制は有難いが、職員の負担が重ならないよう配慮してもらいたい。地域の方の学習や行事での協力をより一層求め、輪を広げることで保護者も地域の子供たちという目が育つのではないかな。	1. 17で、地域の方や防災福祉コミュニティの方と触れ合う計画を進めたい。また、行事や学習等で本音以上にボランティアを募りたい。さらに、地域のみなさんに発信できるような学習を模索していく。
全市的に 推進すべきこと	①いじめ防止対策に関する取組み	子ども同士がもめたときは、迅速に対応した。毎週金曜日に情報交換会をもち、小さな変化も職員全体で情報と今後の対応について共有した。	3	教師と児童との話しやすい関係、学級における問題を見逃しにくい環境を目指した。毎週金曜日の情報交換で、小さな変化や問題も共有し今後の対応につなげた。	ほどよいマイナス体験は子供にとって大切である。きめ細やかに見守りながら、マイナスを排除したり避けさせたりするのではなく、乗り越えさせてやってほしい。	心無い言葉を言ってしまう子がいる。だからこそ、各学年に応じたソーシャルスキルトレーニングを行ってはどうかな。
	②不登校支援の取組み	上記に加え、児童と保護者の思いや個性に寄り添った対応を行った。支援ルームでの個別対応、放課後登校、オンライン交流など、個に応じた学びや繋がりの継続を図った。	4	担任だけでなく、各グループや生徒指導、管理職と十分に相談し、チームで動くことができた。家庭・職員・関係機関との連携が取れている。個に応じた対応ができています。	これからも、誰もが「存在を認められた」と感じられる風土を大切にしていきたい。	より組織的に対応にしていけることが大切。
	③教職員の業務改善	校務支援システムの回覧板や連枝会議室を有効活用して、会議数や時間を削減した。長期休業中の当番日誌、個人情報持ち出し簿等の校内書類を電子化して負担軽減に努めている。	2	地域行事への参加について担当学年の負担が大きい。必要な仕事は、校務分掌であげる。電子会議室を取り入れて良かった。	地域行事への参加は無理のないように。見直しをすべき。	校務分掌の精選が必要。地域行事には、輪番制を設ける。ソーラン演舞が継続できるよう、教職員の負担軽減を考えて立案する。
	④「すぐ-る」の活用、ホームページにおける情報発信	学校だより等、その多くをすぐ-るでの発信に切り替え、近隣の工事等の細かな情報も発信した。また、行事や授業での様子を積極的にホームページで発信している。	3	すぐ-るの活用が増えている。ホームページの更新が頻繁にされており、学校の取り組みが伝わっていると感じる。	概ね賛同を得た。	学年ごとのホームページでの発信を活性化させる。
	⑤学校生活のルールや決まり（校則など）について	学校生活の決まりについては、適宜職員会議等で確認しながら、必要に応じて修正した。また、明文化したプリントを全校生に配布して、子供たちや保護者に伝えるようにした。	2	週目標を毎回振り返ることで、意識しやすくなった。学校生活でのルールについて、教師間での共通理解が必要。	ルールは身を守るもの。たくさんあると守れない。精選してシンプルにする方がよい。時代にに応じて見直しは必要。学校・子供・保護者の3者で進めてはどうか。	「よくわかる多聞台」の見直しが必要。細かなルールの確認もある。また、ルールとマナーを区別し、守らせることと身につけさせたいことを共通理解したい。

【評点】 4：十分達成できた 3：おおむね達成できた 2：どちらかと言えば課題がある 1：課題がある